

2025 年(令和 7 年)11 月 16 日 (月曜日)



夢や提案を発表する児童（大館市中央公民館）

青少年の主張

青少年育成  
大館市市民会議

小学～短大7人が登壇

# 夢や提言高らかに

青少年育成大館市市民会議（佐藤照雄会長の「青少年の主張」が15日、市中央公民館で行われ、市内の小中学生や高校、短大生計7人が自らの夢や街づくりの提言などを高らかに発表した。

市小・中学校PTA連絡協議会など共催、北鹿新聞社など後援。未来を担う青少年の健全育成を願い、「大館市の明るい未来にむかって」を主題に開催した。

発表者は石田京さん（桂城小6年）、田中佐歩さん（長木小同）、山内優槻さん（上川沿小同）、黒田美緒さん（成章中3年）、長谷部拓也さん（比内中同）、菅原詩音さん（大館鳳鳴高2年）、小坂士さん（秋田職業能力開発短大2年）の7人。

石田さんは学校給食で出る残飯に対し「SDGs（持続可能な開発目標）の観点から、なくすべき」と問題提起した。「全学年で廃棄はどれだけの量になるか。学校でできることはいろいろある」などと述べた。他に二プロハチ公ドームの有効活用や、多様な視点を取り入れた街づくりを提案。「大館は少し勢いが足りない。本気で変えようと行動しなければ」と締めくくった。

発表者たちはそれぞれ医師を目指す夢、自分の性格を変えられたきっかけなどをハキハキと述べた。来賓や保護者は真剣な表情で聞き、拍手を送った。